

## 令和5年度 第2回岡崎市図書館協議会議事録

### 1 日時

令和6年2月19日(月) 午前10時開始、午後11時10分終了

### 2 場所

岡崎市図書館交流プラザ 会議室 301

### 3 出席者

#### (1) 出席委員（10名）

柴田悦己委員、清松治子委員、鹿嶋浩委員、江良友子委員、松本隼人委員、  
山田美代子委員、浦部幹資委員、小澤孝道委員、加藤善士委員

#### (2) 欠席委員（1名）

平岩ふみよ委員

#### (3) 説明のため出席した事務局職員

中村社会文化部長、谷端中央図書館長、大村副館長、杉山総務係長、  
天野資料提供サービス係長、上川畑情報サービス係長、烏田主事

### 4 傍聴者

なし

### 5 次第

#### (1) 社会文化部長あいさつ

中村社会文化部長あいさつ

#### (2) 会長あいさつ

柴田会長あいさつ

#### (3) 議事

(1) 令和5年度事業 経過報告

(2) 報告事項

#### (4) その他

## 6 議事要旨

### (1) 令和5年度事業 経過報告 事務局から説明

(会長)

令和5年度事業経過報告について、質問等あればご発言いただきたい。

(委員)

報告の内容からは外れるが、私の授業では「図書館の自由に関する宣言」について図書館にポスターが貼ってあるかの確認を授業の課題に含めている。その中で、りぶらに貼られているポスターが古く、色が褪せてしまっていると声があった。あの宣言は利用者と図書館、図書館のスタンスを伝える、いわゆる約束だと学生に伝えているので、是非春から新しいものに替えていただきたい。また、貼る場所についても見やすいところに変えることを検討してほしい。

次に事業報告について、議事資料(1)の1枚目のブックスタートボランティア養成事業だが、延人数で54人、3日間実施しているので、単純計算で1日18人だが、この人数はブックスタートを実施にするにあたって十分な数なのかお聞きしたい。

また、イベント事業の中でリサイクル本バザーについて、ボランティアが毎月第3火曜日に実施しているとのことだが、これも学生からの意見で、行きたくても平日火曜日だけではなかなか行くことができないので、土日も実施してもらえると、もっと利用が増えるのではないかと意見があった。私も同様の意見のため、対応難しいところもあると思うが、検討をお願いしたい。

(事務局)

ブックスタートボランティアの人数についてだが、養成講座は既にボランティア組織がある中で、活動をやめられる等で生じる人員の不足を補うために毎年実施している。

今年度は20名の受講者募集に対し、定員いっぱいの申込みがあった。実際に講座を受けたかたのうち、ボランティアとして活動して下さるかたに登録いただいている。現在は50から60名のボランティアが登録しているが、高齢のかたが多く、介護や家庭の事情で活動ができないかたも年々増えているが、人数としてはなんとか回っている状況である。

現在げんき館の1歳6か月健診会場でのブックスタートは絵本の手渡しだけになっているが、保健所から次年度の健診はコロナ流行前のやりかたに戻すと聞いているので、ブックスタートでの絵本の読み聞かせも再開すべく調整をしている。そのためボランティアの数ももう少し必要になるため、来年度も引き続き養成講座の開催を考えている。

つぎに、リサイクル本バザーの実施日についてだが、これはりぶらサポータークラブとの市民協働事業として開催しており、ボランティアが従事できる日として、今は火曜日に設定している。

やはり土日開催を求める声もあるため、実施できるかは分からないが、りぶらサポータークラブと今後協議検討していく。年に1回図書館まつりの時は臨時で土曜日に開催してもらっており、また、今回は2月の祝日、りぶらサポータークラブさんが主催する催事の中で、リサイクル本バザー開催を検討しているので、そういう形で開催日数を増やしていけないか、協議していく。

最後に、図書館の自由に関する宣言のポスターについては、急ぎ確認し対応させていただきたい。

(委員)

法律セミナーデータベース利用講座について、参加人数が73人と大変多いが、1回で73人だったのか、連続してこの講座があったのか教えていただきたいのと、この講座がデータベース利用にどのくらい結びついたか教えていただきたい。

(事務局)

最初の質問について、これは1回のセミナーの参加人数となる。定員80名に対しこれを超える申し込みがあったが、当日欠席もあり73名のかたが参加した。例年は弁護士による法律セミナーを開催しているが、本年度は税理士による相続税・生前贈与をテーマに開催した。

講座開催がデータベースの利用に結びついているかについては、なかなか利用率が上がらず、利用されるかたが少ないので、利用促進のためこういった形で年に1回セミナーを開催している。

(委員)

経過報告ということで、参加人数の記載は非常にありがたいが、行政であれば企画段階で目論見の人数があるはずなので、目論見に対しての参加者を出してもらわないと、全体像が掴めない。法律セミナーについても、定員80名に対し73人ということで、実績が伴っており需要もあったと評価することができる。今後の話になるが、特にイベントは人数だけで見ていくとどんどん増える可能性がある。行政事務としては最初の目論見に対してどのくらい達成できたか分かるような報告をしてもらえると議論が深まるので、ぜひ検討いただきたい。

(委員)

例年第2回会議で事業の報告があり、とても良い活動をされているかと思う。ただ、こうした活動が図書館をあまり利用されないかたに届いていないと感じる。自身も図書館協議会委員になるまでは、図書館は利用していたが、ここまでは知らなかった。利用しないかたに知ってもらうにはどんなやり方が良いか、3年くらい前に市政だよりで図書館の特集があったが、この時は知られざる図書館の世界ということで6ページくらいの内容のあるものだった。またこういうことをやって、この時には入れられなかったブックスタートや読み聞かせ、図書通帳といったサービスなどを市民のかたにも知ってもらう場を設けることを検討してほしい。

(事務局)

イベント等の想定人数、目標人数の表示については、次回以降の資料作成時に参考にさせていただく。

また、図書館の取組みに対する広報や周知に関しては、市政だよりについては発行が現在は月1回となっており、紙面の確保が難しいところもあるが、図書館の定期刊行物や、それ以外のかたちでも、普段利用されないかたや貸し借りのみのかたに、図書館の取組み内容をどのように伝えていくか考えていきたい。

(委員)

正月のイベントで福袋があり、たまたまその時に行ったのでそれを借りた。自分が普段読まない本が入っており、とても良かった。福袋についてはすぐに無くなってしまったのか、残りが出たのか、状況をお聞きしたいということと、ティーンズビブリアバトルについて、24人の参加者とあるが、関係者だけではなく他の高校生の子も興味持って見てくれていたのかお聞きしたい。

(事務局)

福袋については、実施日でそれぞれ用意した分が、夕方くらいには無くなるかという具合で、適正な量を用意できたと考えている。ティーンズビブリオバトルについては、来館者の情報は把握していないのでお答えしかねるが、もう少し多くのかたに来ていただけたらというのが正直なところである。見ている子の中には、中学生もおり、関心を持っている様子が見受けられた。

(委員)

3ページのその他の図書館事業について伺いたい。

図書館の見学と職場体験を実施したということだが、どれくらいの人数が見学や体験をしたのか。たくさん来ると困るものなのか、増えても受入れができるのであれば宣伝の仕方を相談したい。

先ほどのティーンズビブリオバトルは、中学校の授業の中で、熱心な先生が経験させることがあると聞いているので、中学生も対象とすると参加者が増えると思う。図書館見学、職場体験についても大きく宣伝し、4月の学校図書館部会で図書館職員から説明してもらっているが、図書館主任も割とよく変わるので、校長会であるとか、そういったところでも説明があると学校としてはありがたい。

(事務局)

職場体験について、この場で正確な数字をもっていないが、昨年度の職場体験が6件、9名の参加とで、コロナ禍ということもあったが、昨年度よりは増えている。コロナ以前と比べるとまだまだ少なく、学校のカリキュラムなども変わっているのかと思っている。

見学については、コロナ以前と状況が変わっていると感じている。岡崎むかし館と一緒に見学されることが多く、例年は秋から1月くらいまでが多かったが、今年は2月3月の問い合わせが増えている。昨年度は図書館見学9件、中学校が1件だったが、これよりも増えていると感じている。学校図書館部会でも紹介させていただいているが、図書館のホームページでもいつでも受入可能と周知しているので、多すぎて困るというものではない。問い合わせいただければ、可能な限り対応していきたい。

ティーンズビブリオバトルについては、市内の高校にはバトラーを募集する際に、市内全校に声かけをしている。中学校に対しても催事として学校に案内を出し、市政だよりも載せてはいるが、まだまだ手元まで情報が届いていないと感じた。引き続き周知方法なども考えていきたい。またバトラーとして中学生を対象としたものも今後の課題として考えていきたい。

## (2) 報告事項

### 事務局から説明

(会長)

報告事項について、質問等あればご発言いただきたい。

(委員)

2のシステム更新の実施の中の配備端末台数の見直しについて伺いたい。

台数が半数以下になっているものが見受けられるが、本当に利用に支障がないという判断なのか、再確認をさせていただきたいというのが1点、2点目は桜まつり期間中の駐車場について、

昨年はNHK大河ドラマの関係で致し方ないというところもあったと思うが、今年度もこうした制限はしなければならぬという判断なのか。りぶらは駅からそれほど近いわけではなく、利用者の多くは車で来るということになりますが、それで良いのかというところ、以上2点伺いたい。

(事務局)

端末の更新について、台数が半分以下になったインターネット用のパソコンと視聴覚用のパソコンについてだが、これらの端末については、資料統計とは別に利用統計を取っており、個別の数字は今準備していないが、利用率では視聴覚用のパソコンについては、最大でも50%弱がここ5年くらいの実績であり、インターネット用のパソコンについても、平均すると20%台で推移しており、利用が多い時でも50%にいかないくらいである。りぶらができた当初はこういったインターネット用のパソコンや視聴覚用のパソコンの需要があったが、やはりここ10年で社会情勢が変わり、誰もが今スマートフォンを持っていて、インターネットは手元でやれるということと、DVD等についても、館内市町で満席になるということも少なくなり、現状としては、逆に多くあっても利用されずに資産の無駄になってしまう、また学生の自習利用が多い時期に席が足りず、パソコン設置席で一般のかたが本を読んでいることもあったので、今回台数の見直しを行った。

また、駐車場に関しては、時期的なイベントの関係で、図書館交流プラザ、図書館を含めた生涯学習施設を利用されるかたに、制限がかかることについては、大変申し訳ないところである。

一方で、岡崎市全体の公共施設としてみた場合に、りぶらの近隣住民が夕方まで車で出て戻れないという状況が頻発しておったというのも事実である。このような中で、駐車場のあり方については、全市的に毎年見直しを行いより良い方向に改善していければと考えている。今年度末の桜まつりの期間に関しては、先程説明した内容で図書館利用者には御理解いただくよう努めていきたい。

(委員)

承知した。

(委員)

第4次子ども読書活動推進計画を、来年度作って再来年度から施行ということになるかと思われる。前回協議会で副会長から今の小中学生は全員タブレットを持っているのでタブレットで電子図書館を見られるようになるとありがたいという話があった。私も同様に思っていたが、実際に去年の秋、小学校の参観日に初めて小学校3年生の授業を見た。

児童が全員タブレットを持っていて、机の上には教科書も筆記用具もなく、先生の大きな画面と生徒のタブレットで見ながら、先生の出した問題に答えていく、手をあげてのやり取りもあったが、そういうところを目の当たりにして、この流れには逆らえないなと感じた。

教室の窓側の一角には図書館から貸し出された本が30冊くらい入ったブルーの箱があり、そういうところを見ると、図書館の役割とはとても重要であると感じた。電子図書館については、すぐにはできないだろうが検討して、第4次の計画に入れられてはいかがか。

(事務局)

子ども読書活動推進計画について、は来年度にアンケート調査、ニーズ調査的なものを行い、当事者である皆様の意見の聴取を行い、令和8年度から第4次の推進計画へ移行する形で進めていきたいと考えている。御指摘のあったICTを活用した取組みというところでは、子ども読書

活動推進計画の策定に当たっては、国のほうも共通事項として、子どもの読書への関心を高める取組みでもICTの活用についても検討するように、と指針は出ている。子ども自身の意見を聴取するという取組みも、岡崎市全体で市長から「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言しているものであるので、子どもたちの声も聞きながらより良いものにしていきたい。

(委員)

私個人としてはスマートフォン等はあまり良くないとか考えているが、それはそれとしてアンケート調査を行政がやる場合、2通りがあって、広報的な目的で行うアンケート、ニーズ調査を行うアンケートがあると思う。今回は令和8年度からの第4次計画という非常に大きなことを決める、それに向けて先ほど意見が出た事業を知ってもらうということも含め、積極的なアンケート実施を考えていただきたい。ニーズ調査は必須なので、学校の先生等にヒアリングすればかなり集まると思うが、折角お金をかけて行うので、単なるニーズ調査だけではなく、ある意味広報的な、積極的なアンケートを考え、「岡崎市としてはこう考えていて、このように進めたい」という市長の宣言や何かに基づく調査だという形でやれば、図書館のステータスというか、必要性が見えてくるのではと思う。アンケートをやる以上はアンケートという手法を有意義に使っていただきたい。

(事務局)

次年度のアンケートにあたり、いただいた意見を参考にして、より良いものにできるよう検討していきたい。

(委員)

学生に授業で、今日の新聞のこのページについて話すよと言うと、学生から新聞を取ってないと言われ、じゃあ新聞どこで見るのかと尋ねると、おじいちゃんおばあちゃんの家で見ると言う。私も以前は県立の方の教員をしており、図書館、読書活動に力を入れていたが、やはり岡崎市においては、やはりふらではないかと思う。報告のあった活動、特にブックスタートの読み聞かせはとても良いと思う。

先ほどの事業報告で市民病院との連携というのもあったが、特に学校では他との連携というのがすごくテーマになってくる。活字離れ本離れ、それをどう皆で防ぐか、魅力を発信するかということを皆で考えていく必要があるのかなと感じている。大学で教えていても、その部分がすごく大切だと、基本的な子どもたちの思考力に関わってくると感じている。高校などでは多くの図書を読んだ生徒に努力賞などを出しているところもあるようだ。

一方で先ほど話があったように、電子書籍の対応、現実として若い子たちはもうそちらの方で読んでいることもあるので、両方のバランスを取りながらやっていかないと、今後の子どもの読書を通じた思考力が、どんどん下がっていくのではないかと心配している。

具体的なアイデアは出せないが、その辺を勉強して、今後具体的なアイデアを提示できればと考えている。

(会長)

本日の議事は以上でよろしいか。本年度の図書館協議会はこれで最後となるので、1年を通して意見があるかたがいれば、個々のイベントについてなど、まとめという形になるかと思うが、発言をお願いします。(意見なし)

それではこれで議事及び報告事項は終了とする。